

# 平成30年度 全国学力・学習状況調査の結果についてのお知らせ

## 1 教科の学習状況 ○よい状況と考えられる内容 ●指導の改善が必要とされる内容

<p>〈国語A〉 本校：69% 県：70% 全国：70.7%</p> <p>○相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。</p> <p>○日常生活で使われている慣用語の意味を理解し、使う。</p> <p>●文の中における主語と述語の関係などに注意して、文を丁寧に書く。</p> <p>●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。</p>	<p>〈国語B〉 本校：50% 県：54% 全国：54.7%</p> <p>○話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。</p> <p>●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。</p> <p>●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。</p>
<p>〈算数A〉 本校：60% 県：64% 全国：63.5%</p> <p>○180°の角の大きさを理解している。</p> <p>○異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。</p> <p>●小数の除法の意味について理解している。</p> <p>●円周率の意味について理解している。</p>	<p>〈算数B〉 本校：52% 県：52% 全国：51.5%</p> <p>○合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる。</p> <p>●メモの情報とグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる。</p>
<p>〈理科〉 本校：59% 県：60% 全国60.3%</p> <p>○堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。</p> <p>○安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。</p> <p>●より妥当な考えを作り出すために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。</p>	

## 2 質問し調査結果からみえてきたこと

- 「人の役に立つ人間になりたい」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」という質問に対しては、90%以上が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」ことを選び、「学校の決まりを守っていますか」では、80%以上が当てはまるを選んでいました。学校生活で3年間道徳を重点研究で取り組んできた成果が表れていると感じます。家庭生活では、90%が「朝食を毎日食べる」を選び、「毎日、同じくらいの時間に起きています」については、85%が選んでいます。「家で、学校の宿題をしていますか」については、95%が「している」「どちらかというとしている」を選びました。ご家庭でのご協力を感じます。
- 地域や社会に関する調査では、「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」については65%、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」については55%が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んでいました。「新聞を読んでいますか」という質問に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ児童は、16%でした。地域や、社会に関する関心が薄いようです。もう少し、地域の行事やボランティア活動に参加できればよいと思います。

## 3 今後の取組

- ①道徳が教科になり、ますます道徳教育の大切さを感じています。これからも引き続き、道徳教育に力を入れていきます。
- ②学習は大切だと感じている児童が多いです。児童の気持ちを大切にして、誰にでも分かる授業を目指し、基礎学力の定着に努めます。